

## 平成21年度活動・事業報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人  
全国生涯学習まちづくり協会

特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会の目的の達成をめざして、会員の学習の充実や、まちづくりの推進などの活動と、財政の健全化をめざして、以下のような事業（活動）を計画し実施した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名                     | 具体的な事業内容                  | A 日時<br>B 場所<br>C 従業者の人数  | D 対象者<br>E 人数  | 事業費の金額<br>(単位：千円) |
|-------------------------|---------------------------|---|--|-------------------|
| 生涯学習<br>まちづくり<br>ボランティア | 地域アニメーター<br>養成講座          | A-1 7月<br>A-2 8月<br>A-3 8月<br>A-4 9月<br>A-5 11月～2月(3<br>回)<br>B-1 長崎県平戸市<br>B-2 千葉県市原市<br>B-3 長野県東御市<br>B-4 長野県佐久市<br>B-5 千葉県館山市<br><br>C いずれもスタッフ<br>10人 | D 生涯学習ま<br>ちづくりに<br>関心の高い<br>人<br>E-1 16人<br>E-2 13人<br>E-3 19人<br>E-4 9人<br>E-5 21人 |                   |
| 同上                      | まちづくりコー<br>ディネーター養成講<br>座 | A-1 9月12、13日<br>A-2 2月6、7日<br>B 千葉県松戸市<br>C いずれもスタッ<br>フ5人  | D 生涯学習ま<br>ちづくりに<br>強い関心を<br>持つ人<br>E-1 28人<br>E-2 26人                               | 380               |
| 同上                      | 旅のもてなしプロ<br>デューサー特別講<br>座 | A-1 9月3日<br>A-2 2月17日<br>B 千葉県松戸市<br>C いずれもスタッ<br>フ5人   | D 着地型観光<br>に関心を持<br>つ人<br>E-1 15人<br>E-2 20人   | 108               |

第1号議案 平成21年度事業報告

|                     |                                |  |   |       |
|---------------------|--------------------------------|--|---|-------|
| 同上                  | 国内旅程管理主任者研修                    | A-1 9月8、9、10日<br>A-2 11月22日（実務）<br>A-3 2月8、9、12日<br>B-1,3 千葉県松戸市<br>B-2 山梨県山梨市<br>C いずれもスタッフ5人 | D 旅のもてなしプロデューサー資格取得者<br>E-1 13人<br>E-2 21人<br>E-3 19人 | 960   |
| 青少年の健全育成に関する事業      | カメイ社会教育振興財団助成事業 子どもをほめて育てる研究大会 | A-1 11月23日<br>A-2 2月5日<br>B-1 山梨県山梨市<br>B-2 岩手県軽米町<br>C-1 20人<br>C-2 15人                       | D 幼児・児童教育に関心を持つ人<br>E-1 150人<br>E-2 200人              |       |
| 生涯学習まちづくり研究大会に関する事業 | 生涯学習フェスティバル事業（全国生涯学習まちづくりサミット） | A 10月31日<br>B 埼玉県秩父市<br>C 20人  | D 生涯学習まちづくりに関心のある人<br>E2 200人                         | 288   |
| 全国自治体の生涯学習振興に関する事業  | 市町村委託事業（志布志市創年市民大学運営委託）        | A 通年<br>B 鹿児島県志布志市<br>C 延べ50人  | D 鹿児島県志布志市市民<br>E 延べ200人                              | 1,310 |
| 同上                  | 栃木県矢板市ふるさと創年大学（協力）             | A 5月～10月（全5回）<br>B 栃木県矢板市<br>C 延べ25人   | D 栃木県矢板市民<br>E 延べ120人                                 |       |
| 同上                  | 長野県佐久市創年セミナー（協力）               | A 6月～9月（全5回）<br>B 長野県佐久市<br>C 延べ30人  | D 長野県佐久市民<br>E 100人                                   |       |
| 同上                  | 岐阜県可児市生涯学習セミナー（協力）             | A 6月<br>B 岐阜県可児市<br>C 10人  | D 岐阜県可児市民<br>E 50人                                    |       |
| 同上                  | 九州地区生涯学習まちづくりミニサミット（協力）        | A 11月<br>B 福岡県筑後市<br>C 15人   | D 九州地区で生涯学習まちづくりに関心のある人<br>E 75人                      |       |

第1号議案 平成21年度事業報告

|                         |                       |  |                             |     |
|-------------------------|-----------------------|--|-----------------------------|-----|
| 同上                      | 輝け創年祭(協力)             | A 11月1日<br>B 埼玉県松伏町<br>C 40人   | D 埼玉県松伏町民<br>E 400人         |     |
| 同上                      | “あ”のつくまちづくり市民講座(協力)   | A 2月13、14日<br>B 千葉県館山市<br>C 10人  | D 千葉県館山市富崎地区住民<br>E 延べ160人  |     |
| 生涯学習まちづくりに関する調査研究に関する事業 | 課題別研究会「きらめくまちづくりの再考」  | A 4月～3月(6月を除く、全11回)<br>B 千葉県松戸市<br>C 延べ33人                                 | D 関東周辺在住の社員<br>E 延べ150人     | 132 |
| 同上                      | 聖徳大学楽習フェスタ2009(共催)    | A 6月13、14日<br>B 千葉県松戸市<br>C 20人  | D 生涯学習に関心のある市民<br>E 延べ800人  | 23  |
| 同上                      | まちづくりスタディーツアー(その他事業費) | A-1 12月28日<br>A-2 2月13、14日<br>B-1 東京都立川市<br>B-2 千葉県館山市<br>C-1 3人<br>C-2 3人 | D 当協会社員<br>E-1 3人<br>E-2 1人 | 5   |
| 同上                      | イタリア研修旅行              | A 2月17日～24日<br>B イタリア<br>C 3人  | D 当協会社員<br>E 25人            |     |
| 生涯楽手まちづくりに関する広報事業       | 協会発足20周年記念パーティー       | A 2月6日<br>B 千葉県松戸市<br>C 5人   | D 当協会社員<br>E 70人            | 189 |

## 1. 事務局の機能化

### 事務局機能の充実

- ・ NPO 事務局を、聖徳大学生涯学習研究所の事務局と連動させ、事務局の強化を図った。
- ・ これまでの事務局の歴史的資料の整理と分類を図った。

### 会員及び組織との連携

- ・ 会員名簿の再確認
- ・ 会員間が相互に連携が図れる地盤を整理した。
- ・ 全国各地の支部形成を図るため、支部規定を作成した。

### 活動事業の明確化と予算等の透明化

- ・ 活動事業の柱立てとして、「ひと」「まち」「つながり」の3つのコンセプトを形成し、HPの充実を図った。
- ・ 予算等の透明化を図るため、事務局内に予算係（出納係）を決め、経費等の出納管理を徹底した。

### 事務局の相談、助言機能の充実

- ・ 事務局に寄せられる相談が近年、増加の傾向にある。それに対応するために、従来行ってきた福留強理事長及び、清水英男副理事長による応対に加え、事務局スタッフがその任務を行うようになった。

## 2. 情報提供

### 広報

- 社員情報誌 HOW まち（2回/年，春号，秋号）
  - 5月発行・22号 1,500部発行
  - 2月発行・23号 2,000部発行
- 社員情報新聞（1回/年，新年（1月）発行）
  - 10月 400部発行
  - 1月 400部発行の2回発行
- ホームページ（月1回更新）

## 3. 調査研究, 学習開発

尾道市 NPO 「IT 活用による地域アニメーター講座の研究」(文科省)の協力  
観光人材カレッジ構想に着手

## 4. 「生涯学習まちづくり」・「創年」啓蒙運動

当協会が推進する「生涯学習まちづくり」「創年啓蒙運動」の強化を図った。